

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	社会福祉協議会運営支援事業	担当課・係名	福祉課地域福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	16
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	社会福祉協議会に補助金を交付することにより、社会福祉協議会の効果的運営と組織活動を促進し、地域福祉の増進を図る				
対象 (誰を・何を)	社会福祉法人 大磯町社会福祉協議会				
内容	社会福祉法人に対する補助のうち大磯町社会福祉協議会が実施する地域福祉活動に対する補助・地域福祉ボランティア団体が行うボランティア活動を支援するため、その活動の促進を目的として大磯町社会福祉協議会が実施するボランティア育成事業に要する経費の一部を町が補助				
根拠法令・条例等	大磯町社会福祉協議会補助金交付要綱、大磯町地域福祉ボランティア活動育成事業補助金交付要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	16,186	16,186	15,486
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	16,186	16,186	15,486
	職員人数 (概算職員数)	人			0.12
	人件費計 (b)	千円			735
総事業費 (a)+(b)	千円	16,186	16,186	16,221	
事業費内訳 H 25 年度	19-49町社会福祉協議会補助金 15,000千円、 19-59ボランティア補助金 486千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 補助団体 (指定管理)	団体	1	1	1
	② 補助対象ボランティア数	団体	34	35	35
活動指標 (活動量)	①				
	②				
成果指標 (達成度等)	① 補助団体 (指定管理)	団体	1	1	1
	② 補助対象ボランティア数	団体	34	35	35

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	社会福祉法第109条に基づく社会福祉法人への補助であり、町の福祉施策を補完する点からも、町が実施主体となるのは妥当であると考えます。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	町補助金交付要綱に沿って、支給しており妥当であると考えます。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	地域の特性を良く理解している法人に対して補助を行っているため、地域のボランティア育成も含め、地域福祉の推進に成果を挙げていると判断できる。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	人件費補助であり、効率性を計るのは難しいが、多様化する福祉サービスに対し、支援（補助）以上の効果が上がっていると判断できる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input checked="" type="checkbox"/> その他
	理由	地域福祉の推進を目的とする公共的かつ公益性の高い団体への支援（補助）であり、コストを削減できない部分が大きく削減は難しいと考える。
担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 高齢者が今後ますます増えていく中、地域福祉の重要性は高まっており、社会福祉協議会の果たす役割は大きい。今後も、最小限の費用で最大限の効果が上がるよう指導・助言を行っていく

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み
公共性の高い事業を実施しており、町からの継続的な支援が必要と考える。社会福祉協議会自らの自主財源確保により一層努力していただくことを提案。
② 平成26年度に着手する事項
なし。
③ その他（課題、調整事項等）
なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

きめ細かな地域福祉の推進のため、地域福祉の核となる社会福祉協議会に対し、引き続き、町から支援を継続する。
--